
I just called to say I love you.

鈴木 アル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

I just called to say I love you .

【Nコード】

N5901B

【作者名】

鈴木 アル

【あらすじ】

君へと繋がる発信ボタン。愛しい君に伝えたいことがあるんだ。

I j u s t c a l l e d t o s a y I l o v e
y o u .

ただ、愛してるって言うために電話しただけなんだ。
でもくだらない世間話が止まらない。

君にはこの気持ちは迷惑なのかな？
きつとそうだよね。
望みなんてない。
わかってるんだ。

でも、信じられないんだ。
君が僕のこともう好きじゃないなんて。
信じたくないんだ。

あんなに深く指を絡めていたのに。
あんなにきつく抱きしめあったのに。
あんなに優しいキスを交したのに。

どこで間違えたんだろう。

あんなに幸せだったのに、自分で手を離してしまった。

君の気持ちなんて確かめなくてもよかったんだ。

君はあんなに好きを僕に伝えてたのに。

言葉を求めてしまった。

君を困らせてしまった。

君が、僕を好きじゃなくてもよかったんだ。

ただそばにいたかった。

そばにいるだけで幸せだった。

君のとなりは、僕の幸せだった。

幸せが見えなくなっていたのは僕。

君の気持ちを手放したのは僕。

自分が悪かったとあきらめればいいのか？

君を愛しく想って涙を流してはいけないのかな？

僕らは終わってしまったの？

僕はまだ、君をこんなに愛しく想っているのに。

僕の右手は手もちぶさたなままなのに。

愛してる。

あの頃は僕には似合わない言葉だと思ってた。

君への気持ちに、その言葉はふさわしくないと思ってた。

終わってから気付くなんて。

あの頃言えていたら、君は喜んでくれたかな？

今、伝えたら、僕は君の世界から締め出されてしまっただけかな？

まだまだ続く世間話。

君の声が僕の右耳を優しく熱くする。

愛していると、伝えたくて。

やっと取り戻した今の関係をなくしたくなくて。

今日もまた世間話。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5901b/>

I just called to say I love you.

2010年11月6日13時37分発行